



NEWS LETTER

R4年度 第1号 (R4.5.16)

令和4年4月 新任教員からのご挨拶

山下 和美 教授

今年度より教職キャリア高度化センターでお世話になります山下でございます。昭和59年度に本大学の国文学科を卒業いたしました。学校のありようは大きく変わりましたが、鶯のさえずりと木々の緑は当時のままで、毎日すがすがしい気分で朝を迎えさせていただいております。

昨年度までは義務教育学校の校長を務め、いかにして9年間の学びをつなげるかということに心を砕いてまいりました。ここ数年で学校の現況は大きく変わりつつあり、それに伴う課題も山積しています。私自身が教育活動で経験したことや感じたことをお伝えする中で、次代を担う学生の皆さんとともに、課題克服に向けて研究できれば幸いです。どうぞよろしく願いいたします。

吉川 孝 教授

4月より、教職キャリア高度化センターにまいりました吉川 孝です。3月末まで、37年間府立高校に勤務してきました。桃山、北嵯峨、東宇治を教諭として、教育委員会を経て、嵯峨野で副校長、そして、西乙訓、城南菱創、鴨沂で校長として勤務してきました。それぞれに素晴らしい学校文化があり、大好きでしたし、心の宝物になっています。失敗も多くありましたが、生徒が成長する場面に、数えきれないほど出会うことができ、「教員をやって本当によかった」と実感しています。

本センターでは、これからの教育を担っていく学生の皆さん一人一人と共に学び、成長していければと思っています。どうぞよろしく願いいたします。

新体制になった教育創生リージョナルセンター機構・教職キャリア高度化センターを、引き続きよろしく願いします。



令和4年3月 退任教員からのご挨拶

富永 吉喜 教授

三年寝太郎という話がありますが、振り返ってみると本センターに在籍しました三年間、寝太郎よろしく過ごしてしまったように思います。にもかかわらず、そんな私を支えていただいたセンターをはじめ京都教育大学の皆様に心から感謝します。歴史の歯車がどのように回るのか、昨今の世界情勢は不安定極まりなく、そんな時代を生きる子どもたちの教育はどうあるべきか、教職に就くものに突き付けられる問いはますます厳しいものとなり、専門性の高い教員の養成、現職教員への質の高い研修がこれまで以上に求められるでしょう。今後もセンターが要となり、府市をはじめとする教育委員会と緊密な連携を構築し、教員養成、現職教員支援に尽くされることを期待いたします。

村岡 徹 教授

「年年歳歳花相似たり、歳歳年年人同じからず」出会いと別れの季節に馴染む唐詩です。一年間だけでありましたが感謝の意を添えて退任のご挨拶を申し上げます。授業は小中一貫教育論、問題行動改善のための事例研究、生徒指導充実のための学校内外の連携、を担当いたしました。私ごとながら京都市の中学校、義務教育学校、市教委などでの仕事を振り返ることにもなりました。不易と流行…、学校現場の移ろいの中で意識をしてきました。教育改革の波は脈々と続いていきます。教職を志す学生、院生の皆さんが時代の趨勢を捉え、そして流されることなく、自らの大志を抱いて教壇に立ち、活躍されることを祈念しております。有り難うございました。

村上 忠幸 教授

長い間お世話になりありがとうございました。特にメンタープロジェクトの皆様には、語りつくせないほど助けていただきました。すでにご退職された先生方にもあわせて感謝したいと思います。メンターシップの考え方は、これからどんどんニーズが増えると思います。数年前までは、コーチング、省察、ファシリテーションという言葉さえ聞きなれない方がほとんどでしたが、今や日常語になった感があります。ここで退職するのはとても惜しい感じがしておりますが、できる限りこのような活動は続けていき、メンターシップが広がるように尽力していきたいと思っております。

「学び続ける教員へのメッセージ」講演会の報告

昨年度も「学び続ける教員へのメッセージ」として、講演会を2022年2月19日（土）にオンラインライブ配信にて実施し、222名が参加しました。講師には京都芸術大学の本間正人教授をお招きし、「学びを楽しめる教師であるために～これからの教師に求められる省察・コーチング・ファシリテーション～」というテーマでお話をいただき、講演終了後には、本間教授と本学村上忠幸教授との対談を行いました。

講演では、教員が生涯にわたって学びを続けることの重要性や、子どもの力を伸ばすコーチングとファシリテーションについて、これからの教師に求められる資質・能力を踏まえながら、お話しいただきました。

また、対談は村上教授からの問いかけに本間教授が応える形で行われました。Teachers Identity、アウトプットしながらの学び、質の高い探究学習など、豊富な話題が取り上げられ、前半の講演を深める内容でした。また、対談中はチャット機能を用いて視聴者からの質問や感想を受け付けられ、オンラインながらもライブ感があるものとなりました。視聴者からも「教員として学び続けることの大切さや同じことの繰り返しではなく新しいことを取り入れることの重要さを感じた」等の声があり、たいへん好評でした。

所属教員

センター長	高柳 真人
センター次長	市田 克利 樋口 とみ子
専任教員	中垣 ますみ 吉川 孝 山下 和美 楢山 直美 福岡 拓
兼任教員	榊原 禎宏 小山 宏之 相澤 雅文

連絡先

ボランティアオフィス	075-644-8336 (月～水・金 10:30～13:30、木 10:30～14:30)
スポーツ指導者養成オフィス	075-644-8143 (月～金 10:00～13:00、14:00～15:00)
事務担当	075-644-8276/8117 (研究協力・附属学校支援課 研究協力・センター機構支援グループ)

